



伊藤 文博 議員

質問

20年後、30年後を見据えた心と体の健康づくりについて

中高年男性の運動習慣の不足のように現在の健康づくりの施策に乗り切れない人たちの生活習慣をどのように改善していくかなどに代表される課題への対応が重要となっている。次の点について伺う。

- (1) 要介護・寝たきりの人をどう少なくしていくか。
- (2) 孤立した市民が少ない地域社会をどうつくるか。
- (3) 活動的な生活を送る市民をどう増やしていくか。

▼市長答弁

- (1) 生涯自立し元気に過ごすため、子供の頃から健康な食生活や運動習慣の定着など健康増進に努め、継続することが重要である。今後もライフステージに応じた事業を展開していく。
- (2) 孤立した市民をできる限り減少させるため、社会的なつながりや地域社会の絆を充実させ、活発な生涯学習活動の推進に努めていく。

- (3) 若いうちから生きがいや趣味等を通して仲間づくりを推進し、高齢になっても社会参加の機会や活躍の場が提供できる地域づくりが重要と考える。

質問

若者が集うまちづくり、定住促進事業について

少子高齢化の進行と人口減少の現状下で、住民サービスの向上により住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現が求められている。次の点について伺う。

- (1) 地域の魅力アップをどう図るのか。
- (2) 移住者を受け入れ住み続けてもらうためには、自己実現だけでなく、ここでの暮らしへの順応性も求められる。どのようにきめ細かな受入体制を実現していくのか。

▼市長答弁

- (1) 市内にたくさんある地域資源を掘り起こし、磨きをかけ、住民が生き生きと活躍する魅力ある地域づくりを行い、移住・定住先として選ばれるように魅力アップを進めていく。
- (2) 現在の移住者からアドバイザーになってもらい、募集から移住した後まで、経験も踏まえながらの相談や、地域との懸け橋として移住者の気持ちがかかる相談体制にしている。また、移住後にトラブルとならないように、地域のルールなどの情報も移住ガイドブックにまとめ、移住希望者に配布している。

- (3) 今年度、女性活躍推進計画の内容を含んだ第2次男女共同参画プランを策定していく。また、糸魚川広域商店街では個店の魅力アップ女性の会が賑わい創出委員会に参画しているほか、市役所内では女性職員によるプロジェクトチームを発足させ女性の活躍に関する調査研究を行っている。



五十嵐健一郎 議員

質問

夢を叶えて若者や女性が輝くまちづくりについて

(1) ビジネスプラン及び地域活性化プランコンテストの糸魚川開催について、(2) 若者総合政策の策定及び糸魚川若者会議の方向性について、(3) 糸魚川市女性活躍計画の策定と女子高校生による市役所課外活動チームの結成について、それぞれ伺う。

▼市長答弁

- (1) 当市においては、創業支援ネットワークを活用して若者や女性の新規ビジネスプランの実現を支援していく。また、地域づくりプランの作成を進め、報告会の開催などにより地域活性化の情報共有を図っていく。
- (2) チーム糸魚川の若者会議において、30年先も持続可能なまちづくりについて若者の視点で意見交換を行い、提案を行うこととしている。

質問

筒石・徳合地区における治山事業について

(1) 補修工事及び点検調査について、(2) 斜面監視システムについて、(3) 安全対策協議会への対応について、(4) 傾斜計データ収集と耐震化基準について、それぞれ伺う。

▼市長答弁

- (1) 本年3月1日に地元説明会を行い、3月末から補修工事、点検調査に着手している。
- (2) ワイヤセンサーを取り付け、異常を知らせるシステムを設置することとしている。
- (3) 県と市が一緒になり、情報提供、説明に努めていく。
- (4) 13か所のデータ収集を行い、県、市及び安全対策協議会で情報を共有しているところである。法枠工法には耐震化基準がないが、当地区は砂岩・泥岩互層の受け盤構造であるため、地滑りは考えづらいと県から説明されている。

※1 ストーカ式焼却炉…炉内の火格子（ストーカ）を動かしながら空気を送り込むことでごみを乾燥・燃焼させて焼却し、ダイオキシン類の発生を抑制する。